

平成29年10月16日

各 位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」－平成29年9月度調査－ ～「景況感」と「企業間連携」についてお聞きしました～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長 工藤 稔）は、全国の中小企業経営者を対象とした毎月のアンケート調査「大同生命サーベイ」を実施しています。

9月は、毎月実施している「景況感」に加え、個別テーマとして「企業間連携」を調査しました。

<調査概要>

調査期間 : 平成29年9月1日（金）～9月29日（金）
調査対象 : 企業経営者（約7割が当社ご契約企業）
調査エリア : 全国
調査方法 : 当社営業職員が訪問により調査
回答企業数 : 4,224社
調査内容 : ①景況感
②個別テーマ：企業間連携

<ポイント>

■景況感

➤「業況DI」は▲4.3pt（前月比▲0.2pt）と前月からほぼ横ばい。「将来DI」は5.4pt（前月比▲1.0pt）と前月から悪化しました。

■個別テーマ：企業間連携

➤企業の生産性向上に向けた取組みの1つとして注目されている「企業間連携」について、取組み状況を明らかにすることで、「経営のヒント」としてお役立ていただくことを目的に調査しました。

✓企業間連携のテーマは、「共同研究・開発」「共同受注」が最多で、それぞれ約3割を占めました。業種別にみると、「製造業」では「共同生産」、「卸・小売業」では「共同仕入・購買」、「サービス業」では「施設・設備の共同利用」も多くなっています。

✓連携先は「仕入・外注先（同業種）」が約6割、所在地域は「同一県内」が約5割を占めました。

✓企業間連携において行政等に期待する環境整備では、「成功事例等の情報提供」が約4割と各回答のなかで最も多く、次いで「企業間の調整役の派遣」「マッチング機会の拡大」となりました。

※業況DI：自社の現在の業況 将来DI：自社の将来（1年後）の業況

以上

【別紙】

■ 「大同生命サーベイ」について

当社は、昭和40年代から中小企業市場に特化した「独自のビジネスモデル」を通じて、約37万社のご契約企業をはじめ、多くの企業経営者さまとの関係を築いてまいりました。

「大同生命サーベイ」は、当社営業職員が経営者のみなさまを訪問し、「景況感」や「経営課題の解決に向けたお取り組み」等に関する“生の声”をお聞きする調査として、平成27年10月より、全国で実施しています（毎月の回答企業数：約4,000社）。

中小企業の多くを占める「小規模企業」にフォーカスした、「毎月」のアンケート調査としての“独自性”を活かし、経営者のみなさまの関心が高いテーマや、経営課題に対する“ヒント”等、有益かつタイムリーな情報提供に努めております。

末筆となりますが、当調査にご賛同いただき、ご協力いただいております経営者のみなさまには、厚くお礼申し上げます。

[参考：過去の個別テーマ（直近1年分）]

平成29年 9月	企業間連携
平成29年 8月	災害への備え
平成29年 7月	電力小売自由化
平成29年 6月	助成制度の活用
平成29年 5月	取引拡大に向けたIT活用
平成29年 4月	労働時間の縮減・同一労働同一賃金への取組み
平成29年 3月	健康経営への取組み
平成29年 2月	働き方改革と賃上げの実施意向
平成29年 1月	成長投資に向けた資金需要
平成28年 12月	「平成28年の振り返り」と「平成29年の抱負」
平成28年 11月	中小企業等経営強化法の活用
平成28年 10月	相続対策

➤ 「大同生命サーベイ」のバックナンバーを、大同生命Webサイトでご覧いただけます。

<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/>

※ 「大同生命サーベイ」で検索ください。